

48 五加区 (東白川村)

活動地域: 東白川村 五加区
活動拠点: 「五加センター」 会長: 今井 章治

地区の概要

五加区は、東白川村の玄関口に位置し、柏本自治会、大沢自治会、宮代自治会、下野自治会、久須見自治会の5自治会で構成されており、白川茶の発祥の地としても、知られている。



地域一体のふれあい活動

五加納涼夏祭り

毎年8月13日に、五加運動場において青年部が中心となって夏祭りを開催している。帰省時期でもあるため、多くの住民が参加するイベントになっている。

運営の資金は、補助金のほか青年部のメンバーが、一軒一軒住民の家を回り、参加費を集めている。

会場には、キッチンカーなどの飲食関係の出店もあり、賑やかにおこなわれる。



祭りの内容は、フリースロー大会、じゃんけんゲーム、宝探しゲームなど盛りだくさんである。

宝探しゲームでは、カプセルボールを、運動場のやぐらやテントに貼り付ける、子どもたちは、貼り付けられたカプセルを友達と競いながら探す。

そして、カプセルの中に入っているカードと景品が交換となる。景品は、ゲーム機、クーラーボックス、ハンディファンなど多彩で、大人気のイベントとなっている。



ステージショーの様子

また、ボランティア団体などによるダンスや歌のステージショーも人気である。日頃の練習の成果を披露する場となっており、出演者と住民が一体となって楽しめるショーが繰り広げられる。

お祭りのクライマックスは、毎年恒例の盆踊りである。盆踊りの曲は、1980年代のポップソングで、盛況のうちにフィナーレを迎える。

河川環境整備活動

河川環境整備活動として、年2回、東白川村役場、東白川村観光協会と協働して、村の中央を流れる白川の清掃活動をおこなっている。

清掃活動は、当日都合のつく住民が参加しており、各世帯からの参加者は1~2名となる。地区每では20~30人となり、5つ地区で同時におこなわれている。

清掃は、参加者同士で話しをしながら、コミュニケーションの取れるふれあい活動となっている。

● 今後の展望

現在、20歳代から40歳代の青年部が活躍しており、祭りの準備なども、主に青年部が中心に対応している。そのため、運営については、今の体制で10年ほど維持できる見込みである。

今後は、青年部による時代に合わせた、新たな取り組みも期待される。

五加区では、新しい活動も自分たちのものとして、しっかり受け入れられる土地柄がある。毎年春に、子どもたちが披露する杵(きね)振り踊りも、昭和35年ごろから始まった比較的新しい文化であるが、今では、地域の文化として根付いている。



杵(きね)振り踊り

将来は、子どもたちが就学、就職などでこの地区を離れることがあっても、またこの地区に戻ってきたいと思えるような地域一体のふれあい活動が続く事が願われる。

取材を終えて

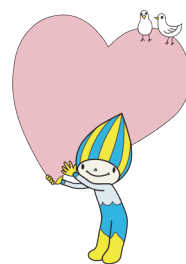
東白川村では、人口減少が課題となっているが、取材先では、地域で協働し住民に密着した活動やお互いの顔の見えるふれあい活動など、課題を感じさせない地域の状況が取材できた。

特に、五加区の青年部のメンバーは現在33名で、夏祭りを始めとした住民同士のふれあいを大切にしてい、地域の活動を盛り上げており、今後更なる住民活動の活性化が期待される。

関係者の皆様、取材にご協力頂き、ありがとうございました。

ぎふ地域の絆づくり支援センターからのお知らせ

「ぎふ地域の絆づくり支援センターだより」は、岐阜県のホームページのぎふ地域の絆づくり支援センターのコーナーからご覧いただけます。



ぎふ地域の絆づくり支援センターだより

